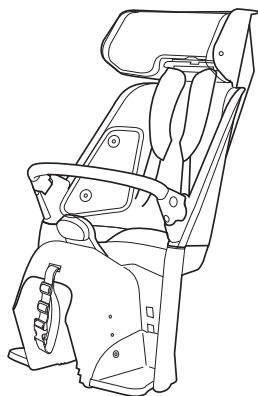


お客様へ

販売店様へ

Panasonic®



組立・取扱説明書

チャイルドシート（後用）

品番 NCD502S NCD504S
NCD503S NCD505S

この組立・取扱説明書は大切に保管してください。

販売店様へ

本紙ではチャイルドシート（後用）の組立方法と使用上の注意について説明しています。よくお読みのうえ、正しく組み立ていただき、お客様に安全上のご注意と取扱い方法（8 ページ～裏表紙）を説明の上、お客様によくお読みいただくようご指導いただき、組立後はお客様に手渡していただきますようお願い申し上げます。

お客様へ

- ご使用前に「安全上のご注意」（下記～5 ページ）を必ずお読みください。
- ご使用の際は、本紙とあわせて、パナソニック製電動アシスト自転車本体の取扱説明書をよくお読みください。
- イラストはイメージ図を使用しています。形状やデザインが実際と異なる場合があります。
- SG マーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。（新品で購入した日より3 年間）
- 適合自転車、お子様の適用範囲の記載および取扱説明書の記載を守らない場合には、SG マーク制度の賠償対象外になるおそれがあります。
- 小学生以上の児童を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSG マーク制度の賠償対象外となるおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください。お客様、販売店様、両方がご確認ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
---	--------------	---	------------------

お願い

- これは自転車用のチャイルドシートです。ほかの目的に使用しないでください。
- 自転車の交通法規を守ってください。
- 装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆずって確認してから走行してください。
- 幼児にはヘルメットを着用させてください。
- 取り付け作業は販売店で行ってください。
- チャイルドシートを雨ざらしにしないでください。
- 悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。
- 火気高温に近づけないでください。
- 汚れは水を含ませた雑巾などでふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは付着させないでください。

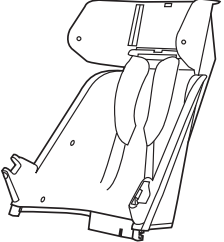
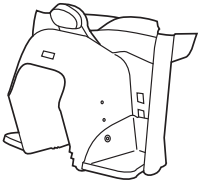
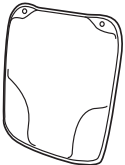
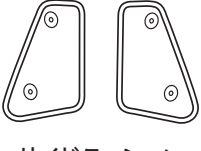
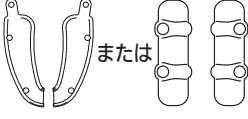
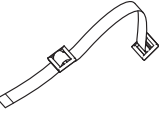
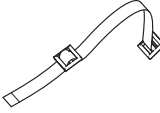
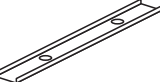
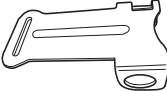
安全上のご注意

お客様がご確認ください

- お知らせ
- 本チャイルドシートの質量は約 5.0 kg です。
 - 16 歳未満の方は、幼児を乗せて使用することは法令で禁止されています。
 - 自転車に取り付けられるチャイルドシートは、一般車で1つ、幼児 2 人同乗用自転車で前後に各1つに限ります。
 - ギョットシリーズ(幼児 2 人同乗用自転車) 以外の自転車に取り付けるチャイルドシートは、1 つに限ります。
 - ギョットシリーズ(幼児 2 人同乗用自転車) 以外に、この後用チャイルドシートを取り付ける場合は、前に幼児をのせないでください。
 - 乗せることができる幼児は、年齢 1 歳(12 か月) 以上、小学校就学の始期に達するまでとし、体重と目安身長は以下の通りです。
クラス 27 キャリア使用時：体重8kg以上 22 kg以下(目安身長 70cm 以上 115 cm 以下です)
クラス S キャリア使用時：体重8kg以上 24 kg以下(目安身長 70cm 以上 120 cm 以下です)
 - 幼児を乗せる場合は、ハンドルがふらつき、不安定になる場合があります(特に、発進時、低速走行時、カーブや下り坂での走行時、幼児が不意に動いたときなど)。また、ブレーキ操作時、制動距離が長くなります。

部品構成

販売店様がご確認ください

 本体上部 1 個	 本体上部 1 個	 背クッション 1 個	 グリップバー 1 個	 グリップバー ボルトセット 1 セット
 サイドクッション 右左各1 個	 シートベルトクッション1セット ※モデルにより形状は異なります。	 ヘッドレスト (ライナー部) 1 個	 M5 ねじ切り ワッシャー 4 個	 キャップ 3 個
 シートクッション 1 個	 補助ベルト (長 : 350mm)	 補助ベルト (短 : 230mm)	 M5 ボルト 4 個	 ヘッドレスト 固定ボルト 2 個
 取り付けステー 1 個	 M6 ボルト 4 個	 補助ベルト金具 (※ NCD505S のみ付属)	※上記部品はグリップバーに巻き付けてあります。	
	 セーフティーキャップ 2 個			

- お知らせ
- 組み付けには専用のリアキャリアが必要です。
 - 車種により、使用しない部品があります。

安全上のご注意

お客様がご確認ください

警告

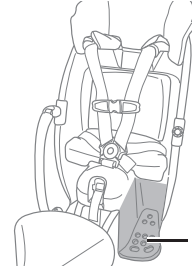
- 必ず守る
- チャイルドシートに幼児を乗せる場合は 8 ～ 12 ページの内容に従う
(幼児が落下して、けがをするおそれ)
 - 幼児の体重は、チャイルドシートが指定する最大適用体重以下であることを確認する(⇒ 2 ページ)
(適用体重を越えて乗車すると破損・折損が生じ、事故またはけがをするおそれ)
 - 使用中、幼児の手足が届く範囲に錠がある場合は、幼児が操作しないように注意する
(車輪がロックされて自転車が転倒し、けがをするおそれ)
 - 乗車および走行中は、必ず幼児にヘルメット(SG 規格適合の自転車用ヘルメットと同等以上のもの)を着用させる



(幼児がけがをするおそれ)
⇒ヘルメットを着用させないでチャイルドシートに子供を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなりますが、着用させた場合は軽傷で済むことが報告されています。

- 適用年齢、体重制限、自転車のリアキャリアに表示されている積載重量、身長制限、定員を守る(⇒2 ページ)※
- 乗車および走行中は、必ず幼児にグリップを持たせ寝ないように留意する※
- 乗車および走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢を取らせる※
(幼児が落下して、けがをするおそれ)
⇒乗せることができる幼児は、年齢 1 歳(12 か月) 以上ですが、特にチャイルドシート(後用)は目が届きにくいいため、幼児が急に立ちあがったりしても気づかないおそれがあります。必ず、シートベルトを装着してください。

- 必ず守る
- 走行中は、幼児の足が車輪に巻き込まれないよう、幼児の足は足のせ部(ステップ)に乗せる※



- 幼児を乗せるときは必ず靴をはかせる※
- ステップは、必ず幼児の体形にあった位置に調整し、取り外したりしない※
※(幼児の足が車輪に巻き込まれたり、障害物に接触し、けがをするおそれ)

- 幼児は荷物などよりもあとに乗せ、最初に降ろす※
- 幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ず幼児を抱いて行う。また、スタンドロックがかかっているか確認して行う※

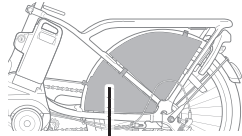


- スタンド操作時は、ハンドルや車体をしっかり押さえる※
- 幼児が 1 人でチャイルドシートに乗り降りしないように注意する※
※(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれ)
- 炎天下での駐輪時、チャイルドシートが熱くなっていないか確認してから幼児を乗せる
(幼児がやけどするおそれ)
- 急ブレーキ、急ハンドルは避ける
(転倒や衝突によるけがのおそれ)
- 別売品のクッションやカバー類は正しく使用する
(誤って使用すると、幼児がけがをするおそれ)

！警告

- ！

必ず守る
- ドレスガードが取り付けてあるか確認する



ドレスガード

(車輪に手足を巻き込まれ、けがをするおそれ)
⇒ドレスガードが装備されていない場合は、販売店にご相談ください。
- 幼児を乗せるときは、安全の確保できる場所で十分練習してから乗車する

(自転車にチャイルドシートを取り付け、幼児を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけたときに制動距離が長くなり、バランスを崩したり、転倒によるけがのおそれ)
- ヘッドレストが確実に固定されているか確認する※

※(幼児がけがをするおそれ)
- ヘッドレストの高さ調節をしてからシートベルトの調節をする

(シートベルトの締め過ぎや緩みによる落下により、幼児がけがをするおそれ)
- リアリフレクターの後方からの視認を妨げていないか確認する

(視認性が悪くなると、事故によるけがのおそれ)
- 幼児を 2 人乗せることにより全体の質量が増大し、衝突などの際の衝撃が大きくなり同乗幼児および乗員の被害が大きくなるので十分に注意する。また、歩行者等と衝突した場合には歩行者などの被害が大きくなるので十分に注意する

バランスを崩し、接触事故等によるけがのおそれがあります。
- 幼児を乗せた状態での押し歩き、スタンド操作時などの場合はハンドルをしっかり押さえる

幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時などでは重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。

- 禁止
- 当社自転車専用のチャイルドシート(後用)のため、指定外の自転車に取り付けて使用しない

(チャイルドシートが破損して、幼児がけがをするおそれ)
- 幼児を乗せたまま自転車を押し歩きするとき、ハンドルを大きく切らない

ハンドルを大きく切った際に、前輪が意図しない回転をして、転倒によるけがのおそれがあります。



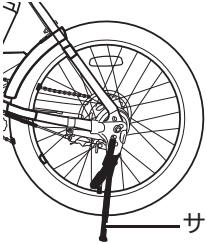
●傾斜面や路面の凹凸があるところでは、特に起こりやすくなりますのでご注意ください。
- チャイルドシートを改造したり、不当な修理をしない

(思わぬ事故につながり、けがをするおそれ)
- チャイルドシートが、自転車に確実に取り付けられていることを確認し、ねじの緩み・破損・変形などがある状態での使用はしない

(チャイルドシートが脱落するおそれ)
- チャイルドシートには荷物を載せない

(バランスを崩し、自転車が転倒し、けがをするおそれ)
- チャイルドシートに幼児を座らせている場合、可動部に触れさせない

(車輪やギアに手足を巻き込まれ、けがをするおそれ)
- サイドスタンドに交換しない



サイドスタンド

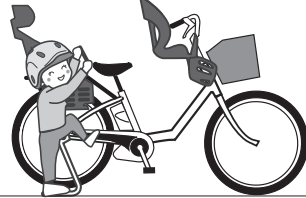
(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれ)
⇒必ず、純正の両立スタンドをご使用ください。
- 安全上のご注意

お客様がご確認ください
- ！警告
- 禁止

■チャイルドシートには幼児は 1 人しか乗せない※

■転倒などの強い衝撃を受けたチャイルドシートは、固定部のがたつき・変形・ひび割れなどの異常があれば使用しない※
※(幼児が落下して、けがをするおそれ)

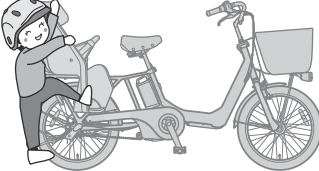
■幼児にチャイルドシートの足のせ部(ステップ)、チェーンケースやフレームを踏み台にして乗り降りさせない※



■幼児に足のせ部(ステップ) および座面の上に立ちあがらせない※

※(足のせ部(ステップ)やチェーンケースが変形・破損したり自転車が倒れたりし、幼児がけがをするおそれ)

■幼児が乗車するときにヘッドレストを持たせない(よじ登らせない)



(ヘッドレストを高さ調節する部品が、幼児の体重に耐えきれず、摩耗・変形・破損したり自転車が倒れたりし、幼児がけがをするおそれ)

■チャイルドシートに幼児を乗せているときは、短時間であっても、自転車から離れない※

■幼児を乗せたまま駐輪しない※
※(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれ)

■幼児を乗せたまま自転車を押し歩きするとき、狭いところや混雑した場所には進入しない

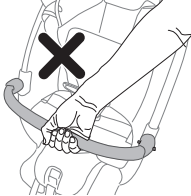
乗せている幼児の動き、路面の凹凸・傾斜などにより、自転車の立て直しができずにバランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

○

禁止

■グリップバーについて

■グリップバーに無理な力をかけない※
●スタンドを立てるとき
●押し歩き時



■グリップバーを持って自転車を動かさない※

※(自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれ)

！

必ず守る

■グリップバーが確実に固定されていることを確認する

(幼児が落下してけがをするおそれ)

○

禁止

■シートベルトについて

■シートベルトが緩んだ状態で走行しない※
■シートベルトに傷が付いた状態で走行しない※



※(幼児が落下してけがをするおそれ)

！

必ず守る

■グリップバーの開閉に関係なく、幼児を乗せたらすぐにシートベルトを装着する※

■シートベルトを外したらすぐに幼児を降ろす※
※(幼児が立ったり、あばれたりすると、不安定で自転車が転倒し、けがのおそれ)
⇒グリップバーは幼児の抜け出しや立ちあがりを防止するものではありません(9 ページ)。

■左右の差込タンクを、確実にバックルに差し込む

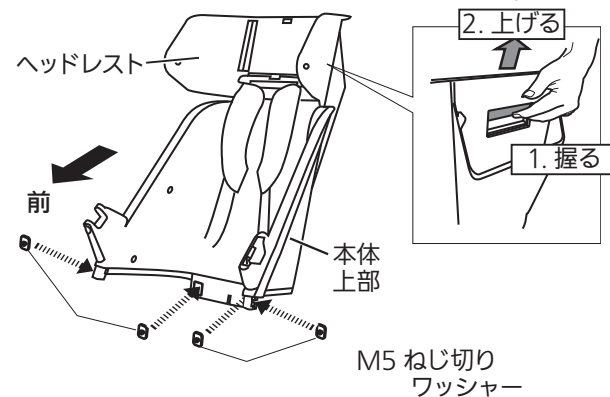
(幼児が抜け出し、落下しけがをしたり、シートベルトが首に巻き付き、窒息するおそれ)
- 4
- 5

チャイルドシート本体の組み付け方

販売店様をご確認ください

1. 本体を組み立てる

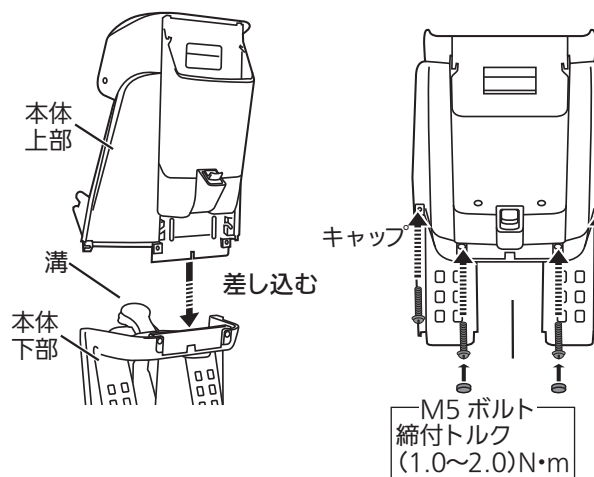
- ①チャイルドシートの上部のヘッドレストを引き上げ、所定の位置に M5 ねじ切りワッシャーを差し込みます。



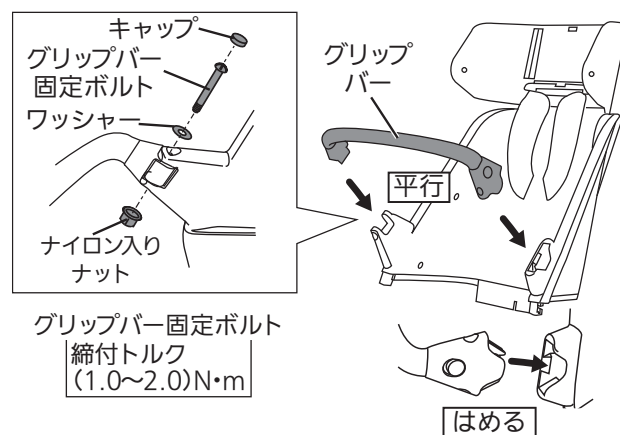
ご注意

- シートベルトが、ねじれないようにご注意ください。

- ②本体の上部を、本体の下部の溝に差し込み、固定ボルトでしっかりと固定し、キャップを押し込みます。



- ③チャイルドシート本体にグリップバーを平行に挿入し、組み付けます。

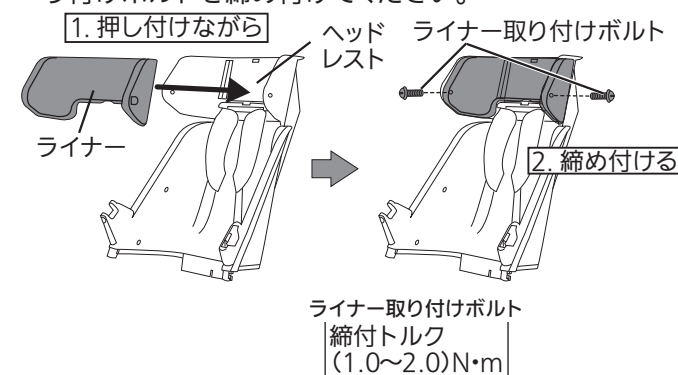


※ 1N・m は旧トルク単位に換算するとおおよそ 10 kgf・cm になります。

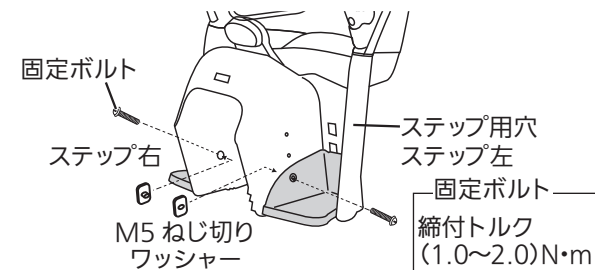
- ④ヘッドレストにライナーをライナー取り付けボルトで取り付けます。

ご注意

- ライナーをヘッドレストに押し付けながらライナー取り付けボルトを締め付けてください。



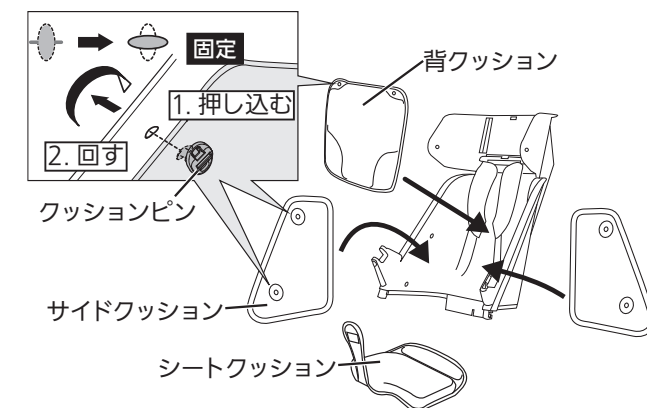
- ⑤左右ステップを本体のステップ用穴に差し込んで、突き当たるまで下方へスライドさせ、固定ボルトで固定します。



ご注意

- 差し込み部分が確実にハマっていることを確認してください。
●ステップの高さは3段階に選択できます。必ず左右のステップが同じ高さになるようにしてください。

- ⑥各クッションを取り付けます。クッションピンのツメをチャイルドシートに押し込みながら 90° 回して固定します。

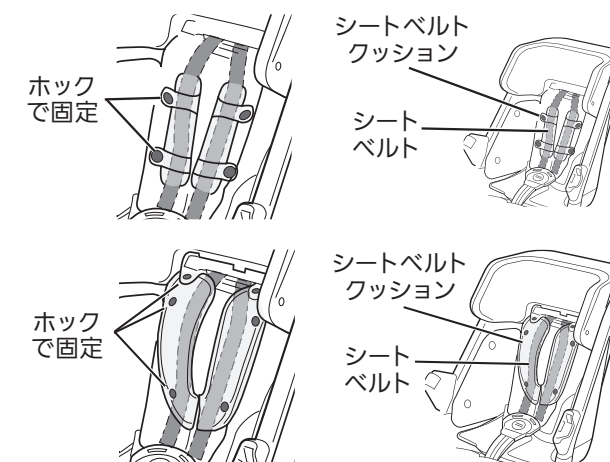


チャイルドシート本体の組み付け方

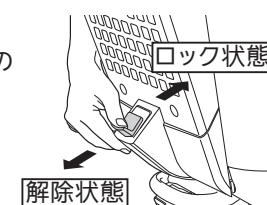
販売店様をご確認ください

- ⑦下図のようにシートベルトのクッションを取り付けます。

- シートベルトクッションは、製品品番によって2種類あり、組み付け方法は下記のどちらかです。



- ⑧シートベルト長さ調節機構の確認をする。



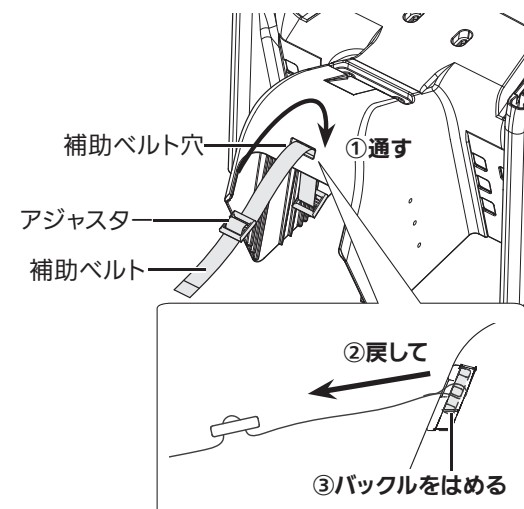
警告

- 自転車のリアフレクターに対して、後方からの視認を妨げないように組付ける

- ！視認性が低下し、接触事故等によるけがのおそれがあります。
必ず守る

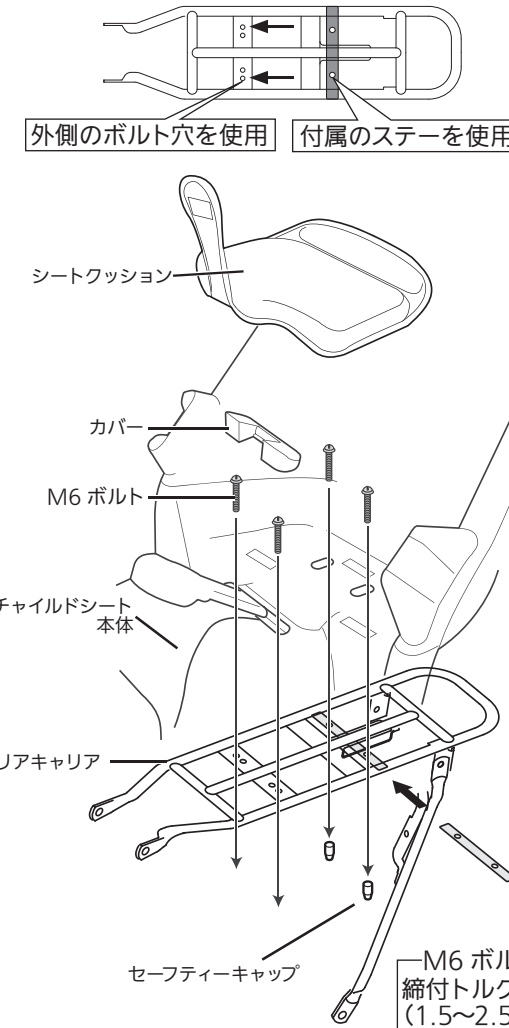
2. 補助ベルトをチャイルドシートに組み付ける

- ①下図のように補助ベルトをチャイルドシートに組み付けます。



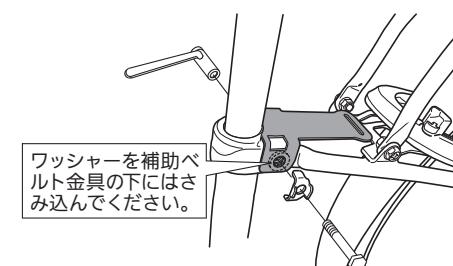
3. リアキャリアに組み付ける

- ①外側のボルトを利用して組付けてください。
※前側のねじ穴は裏側のプレートに設けられたモデルがあります。



4. 補助ベルトを組み付ける

- フレームに補助ベルト取り付け穴がない場合

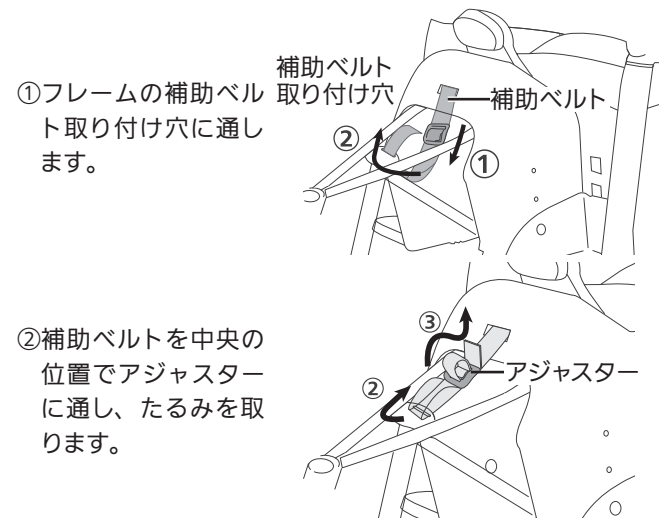


シートポストを最上まで引き上げ、図のように補助ベルト金具をはさみ再度シートピンを組み付けてください。

チャイルドシート本体の組み付け方

販売店様をご確認ください

●フレームに補助ベルト取り付け穴がある場合



お知らせ

- フレームの補助ベルト取り付け穴は、車種により位置が異なりますが組み付け方法はほぼ同じです。(泥よけ組付け用ブリッジ側に取り付け穴がある場合があります。)

お願い

- 補助ベルトにたるみがないか確認してください。
- 補助ベルトの寿命は約2年です。外観上異常がなくとも定期的に交換してください。
(品番：NCD011B 長：350mm)
(品番：NCD014B 短：230mm)



警告

■補助ベルトをたるませたまま走行しない

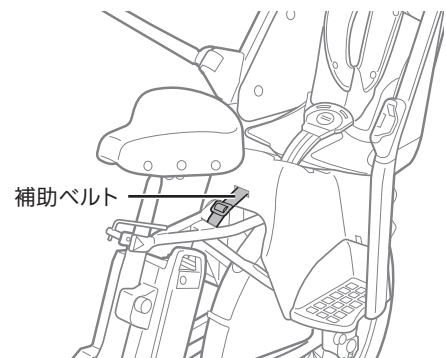
- 車輪、駆動部などに巻き込み、転倒によるけがのおそれがあります。
- 補助ベルトの余った部分は、アジャスターに通して調整してください。バックルが外れた状態での乗車はしないでください。

お子様を乗せるとき

お客様をご確認ください

1. 後輪サークル錠を解錠する

2. チャイルドシートの補助ベルトにたるみがないか確認する



お知らせ

- 補助ベルトは万一リアキャリアが破損してもチャイルドシートと幼児の転落を防止するためのベルトです。

お願い

- 補助ベルトが解除された状態では、乗車しないでください。
- 補助ベルトの寿命は約2年です。異常が無くても定期的に販売店にて交換をしてください(品番：NCD011B<350mm>、NCD014B<230mm>)。

3. ハンドルの旋回が抑制されていることを確認し、幼児を乗せる

お子様を乗せるとき

お客様をご確認ください

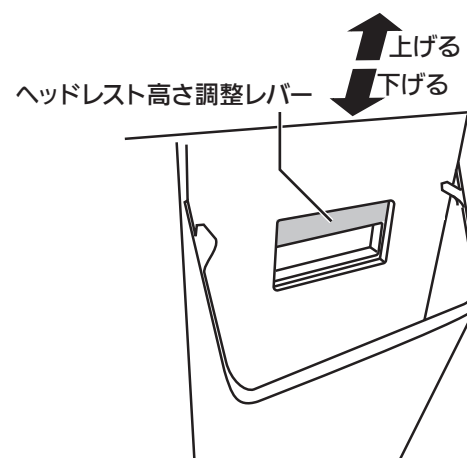
4. ステップの高さを確認する

お願い

- 必要に応じてステップの高さが調整できます。お子様の体格にあわせて調整してください。調整は販売店にご依頼ください。
- ステップの高さは3段階に選択できます。必ず左右のステップが同じ高さになるようにしてください。
- ステップは、ペダルよりも外側にあります。道路のポールなどに接触しないようにご注意ください。

5. ヘッドレストの高さを調整する

ヘッドレスト高さ調整レバーを握り、高さを調整する



注意



必ず守る

- ヘッドレストが幼児の頭部中心(耳の上)よりも高くなっているか確認する
(幼児がけがをするおそれ)

- ヘッドレストの上下スライド時に、手や指の位置を確認する
(指を挟み、けがのおそれ)



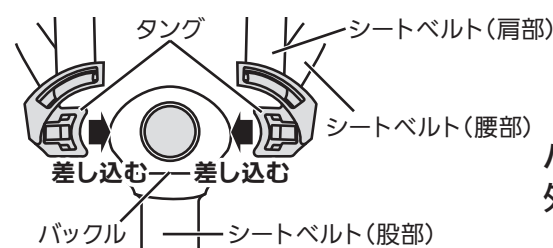
禁止

- ヘッドレスト高さ調整レバーを握らずにヘッドレストを上下させない
(ヘッドレスト高さ調整のストッパーが摩耗したり破損するおそれ)
⇒ヘッドレストが振動などで下がり、適正位置に調整できなくなります。

6. シートベルトを締める

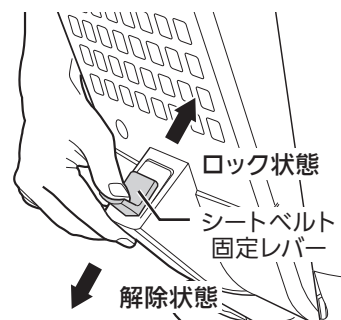
タングを、バックルに差し込む

外すとき



バックルの中心にあるボタンを押してタングを外す

7. シートベルトの長さの調節をする



縮めるとき

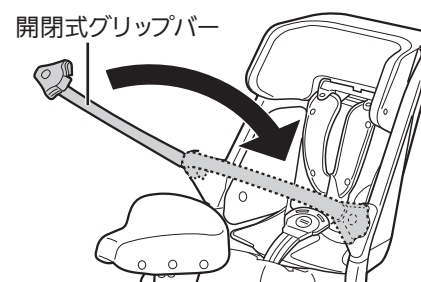
チャイルドシート背面のシートベルト固定レバーを後側（図の解除側）に押すと、バネの力で縮む

伸ばすとき

チャイルドシート背面のシートベルト固定レバーを後側（図の解除側）に押し、シートベルトの固定を解除しながら、左右のシートベルトを手で引っ張って伸ばす



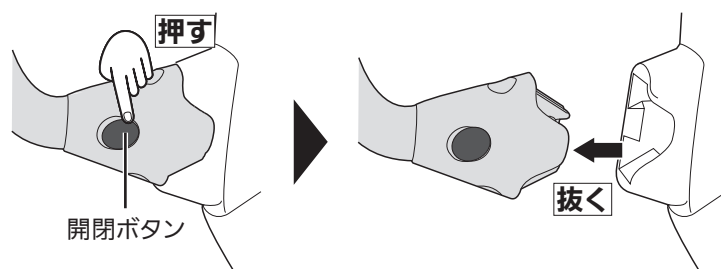
8. 開閉式グリップバーを閉める



- ①グリップバーをはめる
- ②必ず手前に引いて、外れないことを確認する

外すとき

開閉式グリップバーの開閉ボタンを押して、抜く



警告



必ず守る

■グリップバーが確実に固定されていることを確認する

（幼児が落下してけがをするおそれ）



注意



必ず守る

■グリップバーの開閉時に、手や指の位置を確認する

（指を挟み、けがのおそれ）

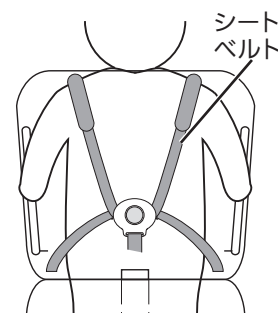
お知らせ

- 指挟み防止のため、グリップバーは90°開いた状態で止まります。必要以上に開けようとするストッパーを乗り越えて、戻しにくくなることがありますので、無理に開きすぎないようにご注意ください。

お願い

- 必ずシートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）が止まっているか確認してください。
- お子様の首に巻きついたり、身体を圧迫したりしないように留意してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- 乗車中にお子様バックルを外さないように注意してください。
- 幼児を乗せないときでも、バックルはタングに差し込んで座面から落ちないようにしてください。
- シートベルトの寿命は約2年です。異常が無くても販売店にて定期的に交換してください（品番：NCB285S）。

〈前から見た図〉



■ 別売品（幼児用ヘルメット）

幼児用自転車ヘルメット（別売品オプション）	
XS サイズ	S サイズ（バイザー付き）
NAY009（マットブラック）	NAY015（マットブラック）
NAY010（マットレッド）	NAY016（マットレッド）
NAY011（マットネイビー）	NAY017（マットカーキ）
NAY012（マットカーキ）	NAY018（マットオレンジ）
NAY013（マッティエロー）	
NAY014（マットオレンジ）	

● SG 基準認証済み製品です。

使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	品 番
電 話 （ ） —	
お買い上げ日	年 月 日

■ 転居や贈答品などでお困りの場合も、
まず、お買い上げの販売店へ
ご相談ください。
それでもお困りの場合は右記の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分
で切れる場合があります。

サポート総合窓口
<https://panasonic.jp/support>

商品に関する、お客様ご相談窓口

【受付時間】9:00～18:00 月～土曜日（祝日・正月三が日を除く）

電話 **0120-781-603**（通話無料）
※ 携帯電話・PHS からご利用になれます。

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 **072-977-1603**
■ FAX **072-977-5611**

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号